

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (イノベティブ先端治療学・アドバンスト)	
<b>I. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
1	広い視野を持ち、豊かな人間性を涵養できる。 1) 治療法や治療薬を研究・開発・実現するためのプロセスを説明できる。	E	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である
<b>III. 医学および関連領域の知識と応用</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
5	診断 2) 気管支喘息発症機序と最新のTRについて説明できる。 3) 分子標的薬によるがん薬物療法の進歩について説明できる。 4) 遺伝子導入細胞移植によるタンパク質補充療法を説明できる。 5) 小児希少がんに対するTRについて説明できる。 6) 神経疾患に対するTRについて説明できる。 7) 機械学習による疾患層別化予測について説明できる。 8) がん免疫の成立機序と免疫治療を説明できる。 9) 内分泌・代謝・老年病の最新の研究について説明できる。 10) 造血器腫瘍に対する最新のTRを説明できる。 11) 抗体治療に関して関節リウマチを代表に説明できる。 12) 医薬品実用化における特許の役割について説明できる。	E	基盤となる知識の修得が単位認定の要件である
<b>VI. 科学的探究</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 常に探究心を持ち、未知・未解決の科学的問題の解決に向けて、以下のことができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解できる。 13) 未解決の問題に関する臨床的あるいは科学的論文を検索し、必要な情報を入手することができる。	D	基盤となる知識、技術の修得が単位認定の要件である
2	新しい科学的知見について、論理的・批判的な思考ができる。 14) 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。 15) 実験室、動物実験、患者に関する研究の倫理的事項を説明できる。		